

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	日本文理大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ニッポンブリダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	九州地方
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	(工学部)建築学科・情報メディア学科・航空宇宙工学科
	担当教職員名・役職	廣田 篤彦(准教授)
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	5
受入企業等数	5	
受入企業等名	(株)Vin設計工房・松田周作建築設計事務所・シンキングリード(株)・(株)銘建・四国旅客鉄道(株)	
インターンシップの分類	9. 中小企業でのインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	本学では、関連科目として1年生全員に企業や社会に対する理解を深め企業の実態を知り、働くイメージを付けるための企業取材、2年生では、将来に向けた目標設定を行うとともに業界研究、就職基礎力を磨く授業を行っている。また、特に3年生では専門分野を意識した就業体験を伴う業務へ従事するインターンシップを実施し、就業体験を通して必要な能力や知識、技術などを確認し、働くとはどういうことなのかを学ぶよう指導している。	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	1年次～4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	8時間×5日間以上のインターンシップを対象とする認定制科目であり、学生が一定期間企業等の中で研修生として働き、自分の将来に関連のあると思われる業界で就業体験を行うための制度である。大学に在籍する4年間のうちの時期において実施しても、それぞれの時期に相応する取り組みにより有意義な成果を得ることができる。研修後に提出された日誌や企業等からの所見により成果を評価し単位を認定している。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	

③	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	事前指導として、インターンシップ強化指導講座を実施している。内容は①インターンシップの重要性や内容、企業の探し方、エントリー方法②エントリーシートの書き方③面接、手続き方法④ビジネスマナー⑤夏季休暇中の過ごし方である。また、学科でも、基本的なマナーやコミュニケーションの方法、実習先の業界に対する研究の仕方等の指導を行っている。1、2年生での企業取材実習での体験が事前指導に役立っていると考え。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	「日誌」「総括レポート」「研修指導者からのコメント」を基に、インターンシップを通して感じたこと、経験したことを踏まえ、自分が将来どうあるべきか、そのためにはどうするべきかを考え、紹介者及び各学科教務委員に報告し、振り返りを実施している。また、必要に応じてインターンシップガイダンスや学科で先輩に向けての発表を実施している。また、報告書等保存し、就職活動に役立てるよう指導している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	特定の企業において、インターンシップ中に担当職員が企業へ赴き、インターンシップの責任者や担当者と内容の確認や、本学の学生の態度等の感想を聞き、次年度の指導内容に活かしている。また、参加学生の様子や研修参加状況の確認を行っている。状況に応じて許可があれば写真撮影や学生自身から感想などの聞き取りもしている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ日誌へ毎日の研修内容や感想を記入し、企業等担当者よりコメントをいただき、報告している。出席状況(全出席が前提)と日誌の内容、企業等担当者による評価、研修報告の内容により成績を評価し、決められた達成基準を満たしている学生のみ単位の修得が可能となる。また、事前研修への出席と研修報告を単位認定の条件とし、決められた達成水準に到達していると認められた学生のみ単位認定している。	
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間以上
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	就業体験を伴う一定期間のまとまりのある5日間以上のインターンシップに教育的効果が得られると考え実施している。また、本学では単位取得に於いて、5日間以上のインターンシップが条件であるため、単位取得希望の学生に対しては、5日間以上実施の企業で内容が学生の満足度が上がるとされる企業を選択するよう指導している。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生の研修日誌に毎日のコメントや評価、アドバイスを記入していただき、学生への指導を依頼している。また、大学に対する意見等も記入していただき、今後のインターンシップに向けての指導に役立っている。更に、毎年「業界・企業研究勉強会」を実施しているが、参加企業対象にインターンシップ実施計画や内容等の情報収集を行っている。研修内容等の打合せが必要な場合は、企業等に赴き、より良い内容になるように努力している。
7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	「別途提出済み」	
問い合わせ	大学等名	日本文理大学
	担当部署名	キャリアセンター担当 進路開発センター担当
	担当者役職名	課長補佐

口 わ せ 先	担当者氏名	平子 政実
	電話番号	097-524-2719
	メールアドレス	hirako@nbu.ac.jp